

令和4年度県土整備プランフォローアップ委員会 特定テーマ

**『カーボンニュートラルの実現に向けた取組や気象災害
リスクへの対応など、今後の更なる気候変動を見据えた
社会資本整備のあり方について』**

近年、気候変動の影響等により、気象災害が頻発化・激甚化し、毎年のように全国各地で多くの犠牲者を伴う甚大な被害が発生しています。現在も、気候変動の要因とされる地球温暖化は進行しており、このままでは、強雨の発生頻度の増加や台風強度の強まり等、気象災害のリスクがさらに高まると予測されています。

また、国においては、「2050年カーボンニュートラル」を目指すことが宣言され、本県においても、「2050年に向けた『ぐんま5つのゼロ宣言』」に「温室効果ガス排出量ゼロ」が掲げられるなど、温室効果ガスの排出量削減、脱炭素化に向けた取組は急務となっています。

このような状況の中、県土整備分野においても、防災・減災対策など気候変動への「適応策」だけでなく、脱炭素化など気候変動そのものの「緩和策」についても、しっかりと取り組んでいかなければならないと考えています。

については、カーボンニュートラルの実現に向けた取組や気象災害リスクへの対応など、今後の更なる気候変動を見据えた社会資本整備を、どのように進めていくべきか、委員の皆様のご意見を伺います。